



平成 19年 3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18年 7月 24日

上場会社名 花王株式会社

(コード番号: 4452 東証第一部)

(URL <http://www.kao.co.jp>)

代表者 代表取締役 社長執行役員 尾崎 元規

問合せ先責任者 取締役 執行役員 会計財務部門統括 三田 慎一 TEL (03) 3660 - 7111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (詳細は添付資料)
(内容) 退職給付引当金
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規)1社
(詳細は添付資料)

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日 ~ 平成18年6月30日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	283,854	21.7	24,197	10.0	24,531	11.3	12,806	14.9
18年3月期第1四半期	233,165	3.0	26,887	5.0	27,652	7.1	15,056	11.6
(参考)18年3月期	971,230		120,134		121,956		71,140	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	23.50	23.48
18年3月期第1四半期	27.67	27.58
(参考)18年3月期	130.58	130.28

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	1,220,052	519,320	41.8	934.88
18年3月期第1四半期	679,146	452,582	66.6	832.61
(参考)18年3月期	1,220,564	509,676	41.8	935.11

(注)18年3月期第1四半期及び18年3月期の純資産は、少数株主持分を含めておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	18,623	13,812	9,085	63,397
18年3月期第1四半期	13,133	911	13,230	69,871
(参考)18年3月期	117,292	479,535	356,721	67,527

【参考】

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

中間期、通期とも、平成18年4月24日の平成18年3月期決算発表時の予想を変更しておりません。(添付資料の3ページ参照)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	600,000	55,000	34,000
通期	1,210,000	118,000	72,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 132円12銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期経営成績及び財政状態の概況（連結）

経営成績

当第 1 四半期（平成 18 年 4 月 1 日から平成 18 年 6 月 30 日まで）は、日本の景気が堅実なペースで回復を続けているものの、当社グループの主要な事業領域である国内家庭用製品の市場は伸び悩みました。このような中で当社グループは、「商品の高付加価値化による“利益ある成長”の達成」という目標の下に、ビューティケアとヘルスケアの事業領域での成長の加速、基盤事業であるファブリック&ホームケア事業のさらなる強化・発展、およびグローバルに特徴ある強い工業用製品事業への注力に取り組みました。その結果、カネボウ化粧品が加わったこともあり、売上高は前年同期より 506 億円増加して 2,838 億円（前年同期比 +21.7%、為替変動の影響を除くと実質 +19.3%）となりました。利益面では、付加価値の高い新製品の発売、既存品の拡売や、費用の効率化などに注力しましたが、販売価格下落や原材料価格上昇の影響を受けたこと、並びにカネボウ化粧品関連の知的財産権及びのれんの償却費が加わったことにより、営業利益は前年同期と比べて 26 億円減少して 241 億円、経常利益は 245 億円（対前年同期 31 億円）当第 1 四半期の純利益は 128 億円（対前年同期 22 億円）となりました。なお、カネボウ化粧品関連の知的財産権及びのれんの償却費控除前の営業利益は、300 億円となります。

セグメント別の概況

【家庭用製品事業】

売上高は、前年同期に対して 5.6%増の 1,767 億円となりました。国内事業は新製品の上市などにより、20 億円の増収となりました。海外事業も積極的な事業展開により増収となりました。しかし損益面では、販売価格下落や原材料価格上昇の影響を受け、前年同期を下回りました。

国内

景気は回復基調にあり、個人消費は緩やかに増加し、消費者物価においても上昇傾向に転じております。一方で、家庭用製品市場においては価格下落が継続していますが、一部の製品カテゴリーでは販売価格が上昇に転じるなど、変化が現われ始めています。こうした中で当社グループは、商品の高付加価値化を図り、事業部門と販売部門が一体となったチェーンごと、エリアごとのマーケティング活動を引き続き積極的に進めた結果、売上高は前年同期を 1.6%上回り、1,312 億円となりました。

パーソナルケア製品では、全身洗淨料「ピオレ u」が、新しい香りや洗い上がりの良さを訴求して好調に推移し、洗顔・メイク落としの「ピオレ」でも、「マシュマロホイップ」や「ふくだけコットンさらさらオイル in」が消費者の支持を得て売り上げを拡大しました。また、入浴剤「バブクール」で、4 つの香りを楽しめる詰め合わせ品を新発売し、好調に推移しました。しかし、シャンプー・リンスは競争激化の影響を受けました。また、制汗剤などの季節商品は天候不順のため伸び悩みました。以上の結果、売上高は前年同期に対して 0.6%減の 457 億円となりました。

ハウスホールド製品では、既存品の販売価格は、緩やかながらも下落傾向が続いていますが、衣料用洗剤の「液体ふんわりニュービーズ」や「アタック ALL in」を新発売してブランドの活性化を図りました。また柔軟仕上げ剤では、防臭効果と消臭効果を付加した「ハミングフレア リラックスハーブの香り」を新発売しました。以上の結果、売上高は前年同期に対して 2.7%増の 562 億円となりました。

サニタリーほか製品では、売上高は前年同期に対して 2.9%増の 292 億円となりました。サニタリー製品では、ベビー用紙おむつは、昨年の改良により消費者の支持を得て、好調に推移しました。また、生理用品では肌ストレスフリーをキーコンセプトとする「ロリエ エフ」の商品ラインを充実させ、売り上げを伸ばしました。ヘルスケア製品では、健康機能油は競争激化の影響を受けました。「ヘルシア緑茶」の売り上げは減少しましたが、「ヘルシアウォーター」を新発売し、ヘルシアブランド全体では前年を上回りました。

海外

アジアでは、売上高は前年同期に対し 15.2%増の 151 億円（為替変動の影響を除くと実質 4.5%増）となりました。市場が成長する中、激しい市場競争が続いていますが、当社グループは、競争力を高めるため、アジアの一体運営に取り組みました。日本と現地とのマーケティングや販売活動の連携をより強化し、プレミアムヘアケアブランド「アジエンス」を台湾、香港で展開しており、また「ロリエ エフ」を香港、シンガポールに上市しました。これらは消費者の支持を得て、販売地域を拡大しています。

欧米では、売上高は前年同期に対し 20.7%増の 321 億円（為替変動の影響を除くと実質 11.7%増）となりました。スキンケア製品「ジャーゲンズ・ナチュラル・グロー」が好調に推移し、ボディ用その他、フェイス用も追加して

売り上げを伸ばしました。高級美容サロン向けブランドの「KMS」は、大幅にリニューアルし、好調に推移しました。

【化粧品事業】

化粧品事業はカネボウ化粧品を加え、特長ある強いブランドづくりに取り組みました。カネボウ化粧品は、高級プレステージブランド「インプレス」、美白美容液「ブランシール ホワイトニングコンクルージョン」及びメイクアップシリーズ「ラヴーシュカ」を新発売して、好調に推移しました。花王ソフィーナでは、新しいスキンケアブランド「HADA・KA」を新発売しましたが、UV 関連製品は天候不順の影響を受けました。英国モルトン・ブラウンは、新製品の追加と販売地域の拡大により、売り上げを伸ばさせました。以上の結果、前年同期では当社グループに加わっていなかったモルトン・ブラウンとカネボウ化粧品を連結することにより、売上高は前年同期に対して約 3 倍の 595 億円となりました。なお、12 月決算であるカネボウ化粧品の第 1 四半期は 1～3 月であり、当社グループに加わった 2 月以降 2 ヶ月間の業績を連結しています。損益面においては、ほぼ計画通りとなりました。

【工業用製品事業】

工業用製品事業は、グローバル展開の充実に努め、売上高は前年同期に対して 5.4%増の 547 億円となりました。損益面では堅調な推移となりました。

国内

景気の緩やかな回復傾向は続いていますが、石油関連製品をはじめとする原料価格の先行きは予断を許さない状況となっています。このような環境の中で、油脂事業は堅調に推移しました。機能材料事業では、一部の需要家の在庫調整もあり伸び悩みました。スペシャルティケミカルズ事業では、トナー・トナーバインダーや、インクジェットプリンターインク用色材は、対象市場の競争激化により、前年同期を下回りました。一方、家庭用製品事業への内部売上高は増加しました。以上の結果、売上高は前年同期に対して 2.3%増の 288 億円となりました。

海外

アジアでは、界面活性剤は堅調に推移しましたが、油脂アルコールが市況の軟化により伸び悩みました。売上高は前年同期に対し 7.8%増の 136 億円ですが、為替変動の影響を除くと実質 4.2%減となりました。欧米では、三級アミンや、コンクリート用高性能減水剤が順調に推移し、売上高は前年同期に対して 12.6%増の 203 億円（為替変動の影響を除くと実質 6.3%増）となりました。

財政状態

総資産は 12,200 億円となり、前期末に比べほぼ横ばいとなりました。事業拡大により、売掛金などが増加しましたが、貸付金が減少しました。負債は前期末に比べ 12 億円減少し、7,007 億円となりました。事業拡大により、未払費用などが増加しましたが、税金の支払いにより未払税金が減少しました。少数株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ 7 億円増加し、5,193 億円となりました。主な増加は、当四半期純利益 128 億円であり、主な減少は、配当によるものです。以上の結果、自己資本比率は、前期末と同じ 41.8%となりました。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、186 億円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が 242 億円、減価償却費が 206 億円であったものの、法人税等の支払いが 166 億円、売上債権やたな卸資産の増加が 135 億円であったことによるものです。投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得で 248 億円の支出がありましたが、一方、短期貸付金の返済などにより、138 億円となりました。財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、主として配当金の支払いであり、90 億円となりました。以上の結果、当第 1 四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ 41 億円減少し、633 億円となりました。

通期の連結業績の見通し

当第 1 四半期連結業績は、ほぼ当初の計画通り推移しました。通期（平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日）の連結業績予想は、当初（平成 18 年 3 月期決算発表時）の計画通り変更ありません。

国内家庭用製品市場での価格動向には不透明感があり、また国内外での原材料価格の上昇も見込まれますが、当社グループは商品の高付加価値化を推進するとともに、成長のための投資についても、今後も積極的に行ってまいります。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期末 (平成17年6月30日現在)		当第1四半期末 (平成18年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)		増 減 (印減)
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(資 産 の 部)		%		%		%	
流 動 資 産	292,155	43.0	359,575	29.5	364,613	29.9	5,038
現金及び預金	46,409		41,095		47,384		6,288
受取手形及び売掛金	105,930		140,557		129,120		11,436
有 価 証 券	26,462		22,309		20,189		2,119
たな卸資産	86,720		109,430		105,853		3,576
その他	26,633		46,182		62,065		15,882
固 定 資 産	386,865	57.0	860,347	70.5	855,872	70.1	4,475
有形固定資産	259,719		282,295		282,796		500
無形固定資産	82,708		469,476		466,221		3,255
のれん	25,402		264,051		267,152		3,101
その他	57,306		205,425		199,068		6,356
投資その他の資産	44,437		108,575		106,854		1,720
繰延資産	125	0.0	129	0.0	77	0.0	52
資 産 合 計	679,146	100.0	1,220,052	100.0	1,220,564	100.0	511
(負 債 の 部)							
流 動 負 債	200,044	29.5	405,808	33.2	436,193	35.7	30,384
支払手形及び買掛金	74,055		97,923		96,507		1,416
短期借入金	19,660		139,428		166,759		27,331
未払費用	63,450		83,291		75,951		7,340
その他	42,877		85,165		96,975		11,809
固 定 負 債	18,877	2.8	294,923	24.2	265,790	21.8	29,133
長期借入金	1,437		249,186		218,545		30,640
退職給付引当金	6,876		29,625		29,439		186
その他	10,563		16,112		17,805		1,693
負 債 合 計	218,921	32.3	700,732	57.4	701,983	57.5	1,251
(少 数 株 主 持 分)							
少 数 株 主 持 分	7,641	1.1	-	-	8,903	0.7	-
(資 本 の 部)							
資 本 金	85,424	12.6	-	-	85,424	7.0	-
資 本 剰 余 金	109,561	16.1	-	-	109,561	9.0	-
利 益 剰 余 金	305,026	44.9	-	-	345,941	28.3	-
その他有価証券評価差額金	3,367	0.5	-	-	5,860	0.5	-
為替換算調整勘定	37,262	5.5	-	-	26,944	2.2	-
自己株式	13,535	2.0	-	-	10,165	0.8	-
資 本 合 計	452,582	66.6	-	-	509,676	41.8	-
負債、少数株主持分及び資本合計	679,146	100.0	-	-	1,220,564	100.0	-
(純 資 産 の 部)							
株 主 資 本	-	-	529,902	43.4	-	-	-
資 本 金	-	-	85,424	7.0	-	-	-
資 本 剰 余 金	-	-	109,561	9.0	-	-	-
利 益 剰 余 金	-	-	345,031	28.2	-	-	-
自 己 株 式	-	-	10,115	0.8	-	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等	-	-	20,416	1.6	-	-	-
その他有価証券評価差額金	-	-	5,140	0.4	-	-	-
為替換算調整勘定	-	-	25,557	2.0	-	-	-
少 数 株 主 持 分	-	-	9,834	0.8	-	-	-
純 資 産 合 計	-	-	519,320	42.6	-	-	-
負債及び純資産合計	-	-	1,220,052	100.0	-	-	-

(注) 増減(資産の部及び負債の部のみ)は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期		当第1四半期		増 減 (印減)	前連結会計年度	
	(自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)		(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)			(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
売 上 高	233,165	100.0	283,854	100.0	50,688	971,230	100.0
売 上 原 価	101,387	43.5	116,167	40.9	14,780	427,734	44.0
売 上 総 利 益	131,778	56.5	167,686	59.1	35,908	543,496	56.0
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	104,890	45.0	137,621	48.5	32,731	420,759	43.3
カネボウ化粧品関連償却費控除前 営 業 利 益	26,887	11.5	30,065	10.6	3,177	122,736	12.7
カネボウ化粧品関連償却費	-	-	5,867	2.1	5,867	2,601	0.3
営 業 利 益	26,887	11.5	24,197	8.5	2,689	120,134	12.4
営 業 外 収 益	1,206	0.5	1,215	0.4	8	4,528	0.5
受取利息及び受取配当金	245		451		206	1,254	
持分法による投資利益	127		-		127	-	
為替差益	156		-		156	13	
そ の 他	677		763		85	3,260	
営 業 外 費 用	441	0.1	881	0.3	440	2,706	0.3
支 払 利 息	231		654		423	1,396	
持分法による投資損失	-		113		113	593	
そ の 他	210		113		96	716	
経 常 利 益	27,652	11.9	24,531	8.6	3,121	121,956	12.6
特 別 利 益	210	0.1	194	0.1	15	1,663	0.1
特 別 損 失	588	0.3	526	0.2	62	6,711	0.7
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	27,274	11.7	24,200	8.5	3,073	116,908	12.0
法 人 税 等	11,878	5.1	10,914	3.8	964	44,666	4.6
少 数 株 主 利 益 (減 算)	338	0.1	478	0.2	139	1,101	0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益	15,056	6.5	12,806	4.5	2,249	71,140	7.3

- (注) 1. 増減は当第1四半期と前第1四半期との比較で表示しております。
 2. のカネボウ化粧品関連償却費は、当第1四半期は、商標権等の知的財産権及びのれんの償却費であり、前連結会計年度は、商標権等の知的財産権の償却費であります。
 3. の販売費及び一般管理費には、カネボウ化粧品関連償却費が含まれておりません。
 カネボウ化粧品関連償却費を含めた販売費及び一般管理費は、当第1四半期：143,489百万円、前連結会計年度：423,361百万円であります。

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度
		(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		27,274	24,200	116,908
減価償却費		13,613	20,640	60,758
受取利息及び受取配当金		245	451	1,254
支払利息		231	654	1,396
売上債権の増減額(増加：)		1,728	10,529	618
たな卸資産の増減額(増加：)		4,644	3,015	4,592
前払年金費用の増減額(増加：)		155	3,977	8,467
仕入債務の増減額(減少：)		3,124	1,577	1,759
退職給付引当金の増減額(減少：)		3,384	122	6,614
その他		2,208	5,779	983
小計		31,876	35,001	157,976
利息及び配当金の受取額		1,588	619	3,379
利息の支払額		248	347	1,428
法人税等の支払額		20,082	16,649	42,634
営業活動によるキャッシュ・フロー		13,133	18,623	117,292
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券・投資有価証券の取得による支出		6	6	3,036
有価証券・投資有価証券の償還及び売却による収入		10,967	12	18,300
有形・無形固定資産の取得による支出		11,861	24,832	201,188
有形固定資産の売却による収入		719	237	1,482
新規連結子会社の株式取得等に伴う支出		-	-	293,034
短期貸付金の増減額(増加：)		93	12,006	84
長期貸付による支出		228	223	897
その他		406	1,006	1,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		911	13,812	479,535
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入金の増減額(減少：)		1,013	2,962	386,381
自己株式の取得による支出		5,141	112	6,056
配当金の支払額		9,117	12,096	24,573
その他		15	159	970
財務活動によるキャッシュ・フロー		13,230	9,085	356,721
現金及び現金同等物に係る換算差額		558	145	2,727
現金及び現金同等物の増減額(減少：)		450	4,129	2,794
現金及び現金同等物の期首残高		70,409	67,527	70,409
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		760	-	760
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		848	-	848
現金及び現金同等物の期末残高		69,871	63,397	67,527

四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

退職給付引当金の計上基準……当社及び主要な連結子会社においては、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第1四半期末において発生していると認められる額を計上しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動

・連結子会社 (新規) 1社: Molton Brown GmbH

販売実績

(単位: 百万円)

事業区分	前第1四半期	当第1四半期	増減率	前連結会計年度
	(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)		(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
家庭用製品			%	
パーソナルケア製品	46,060	45,777	0.6	187,896
ハウスホールド製品	54,764	56,244	2.7	237,551
サニタリーほか製品	28,407	29,231	2.9	113,630
日本計	129,231	131,253	1.6	539,078
アジア	13,186	15,195	15.2	57,188
欧米	26,632	32,145	20.7	115,329
内部売上消去等	1,615	1,808	-	7,563
計	167,435	176,786	5.6	704,033
化粧品	20,468	59,599	191.2	85,246
工業用製品				
日本	28,234	28,890	2.3	114,522
アジア	12,687	13,673	7.8	53,596
欧米	18,043	20,308	12.6	72,196
内部売上消去等	6,992	8,117	-	31,424
計	51,972	54,755	5.4	208,890
合計	239,877	291,141	21.4	998,171
消去	6,711	7,286	-	26,941
連結売上高	233,165	283,854	21.7	971,230

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 事業	工業用 製品事業	計	消 又 全	去 は 社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	176,786	59,599	47,468	283,854		-	283,854
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	7,286	7,286	(7,286)	-
計	176,786	59,599	54,755	291,141	(7,286)	283,854
カネボウ化粧品関連償却費控除前 営業利益	17,537	5,603	6,890	30,031		33	30,065
カネボウ化粧品関連償却費	-	5,867	-	5,867		-	5,867
営業利益	17,537	263	6,890	24,164		33	24,197
営業利益率（％）	9.9	0.4	12.6	8.3		-	8.5

（注）カネボウ化粧品関連償却費は、商標権等の知的財産権及びのれんの償却費であります。

前第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 事業	工業用 製品事業	計	消 又 全	去 は 社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	167,435	20,468	45,261	233,165		-	233,165
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	6,711	6,711	(6,711)	-
計	167,435	20,468	51,972	239,877	(6,711)	233,165
営業利益	18,716	1,698	6,394	26,809		78	26,887
営業利益率（％）	11.2	8.3	12.3	11.2		-	11.5

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 事業	工業用 製品事業	計	消 又 全	去 は 社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	704,033	85,246	181,949	971,230		-	971,230
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	26,941	26,941	(26,941)	-
計	704,033	85,246	208,890	998,171	(26,941)	971,230
カネボウ化粧品関連償却費控除前 営業利益	92,699	7,773	22,029	122,502		233	122,736
カネボウ化粧品関連償却費	-	2,601	-	2,601		-	2,601
営業利益	92,699	5,171	22,029	119,901		233	120,134
営業利益率（％）	13.2	6.1	10.5	12.0		-	12.4

（注）カネボウ化粧品関連償却費は、商標権等の知的財産権の償却費であります。